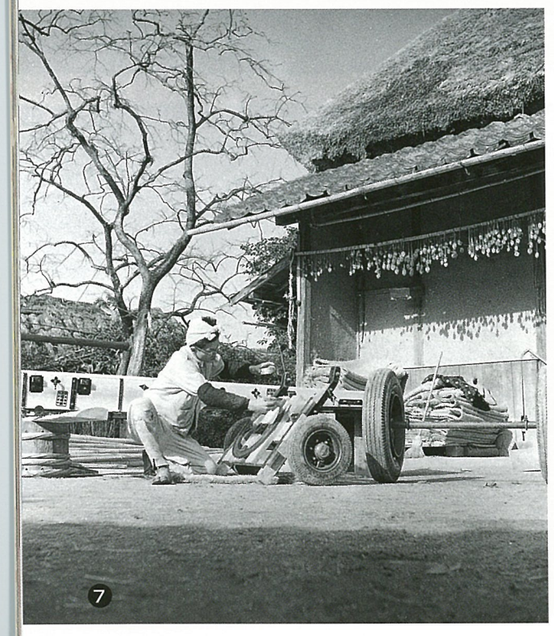
⑤


⑦

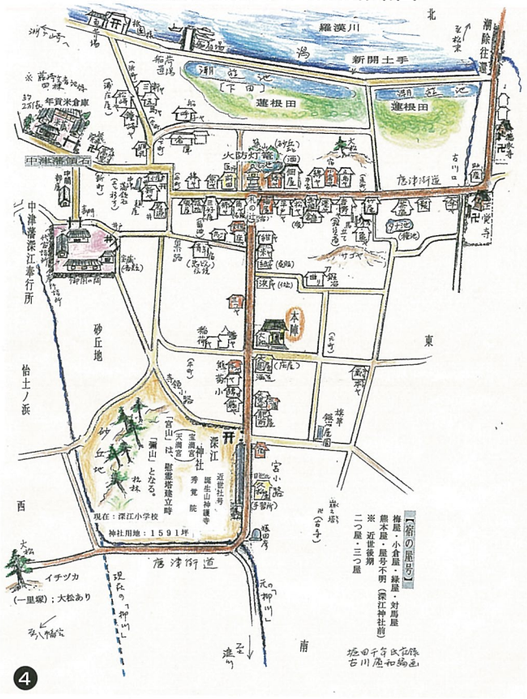
⑥

写真⑤　農作業を終えて帰宅する荷馬車の親子。浮嶽の麓に広がる棚田の風景や牛が引く車力馬車とゴムタイヤの後輪など、戦後の農村風景です。

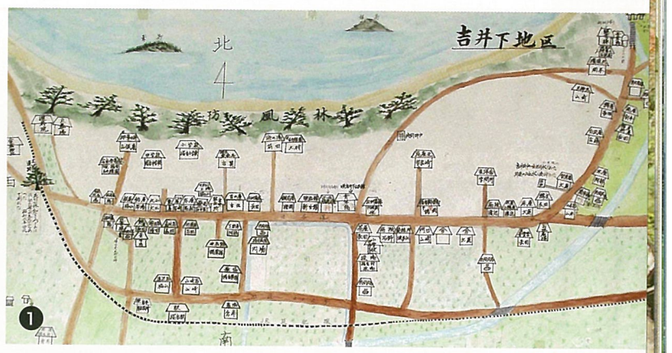
写真⑥　明治３０年（1897）ごろの乗合馬車。深江～前原間、前原～福岡間を走りました。６人も乗れば満員だったようです。エンジンで走る乗合自動車（バス）が登場するのは、大正９年（1920）のことです。

写真⑦　馬車のタイヤを修理する男性。人力車や馬車にゴム製のタイヤが登場するのは明治末期で、それまでは鉄の輪でした。写真は、昭和３４年（1959）の撮影です。

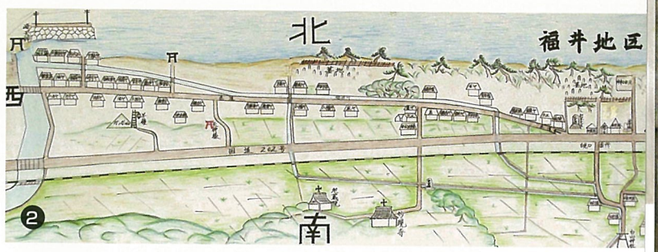
近世深江宿（村・町）街路略図



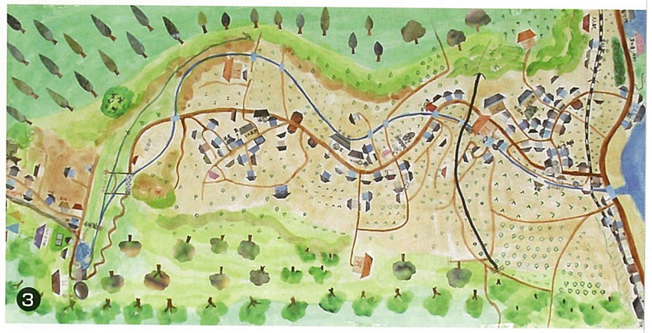
④



①



②


③

写真①②③　福吉郷土史研究会が制作した絵地図。写真①は吉井下地区。写真②は福井地区。写真③は佐波地区。１軒１軒に屋号が入った詳しい地図です。

写真④　近世の深江宿街路略図。深江は、唐津街道の宿場町としてにぎわいました。梅屋、小倉屋、対馬屋など多くの宿がありました。

年表

一六〇三（慶長八）
徳川家康が征夷大将軍となる

一六一五（元和元）
大坂夏の陣

一六三七（寛永一四）
島原の乱

一七〇八（宝永五）
一貴山仁王門が建立される

一七三二（享保一七）
享保の大飢饉

一七八二（天明二）
天明の大飢饉

一八一二（文化九）
伊能忠敬が糸島沿岸を測量する

一八二九（文政一二）
中津藩深江新町奉行所ができる

一八三二（天保四）
天保の大飢饉

一八三八（天保九）
羅漢橋南石橋が完成する

一八五三（嘉永六）
ペリーが浦賀に来航する

一八五五（安政二）
蒲池文内が浜窪に文内堀をつくる

一八五九（安政六）
安政の大獄
深江子負原鎮懐石八幡宮の万葉歌碑ができる

一八六五（慶応元）
野村望東尼が姫島に流される

一八六六（慶応二）
野村望東尼を姫島から救出する

一八六八（明治元）
戊辰戦争
五箇条の御誓文

一八七一（明治四）
廃藩置県

一八七三（明治六）
筑前竹槍一揆が起こる

一八七四（明治七）
深江郵便局が開設される（集配区域は深江村・一貴山村・長糸村）

一八七七（明治一〇）
河原・明響・深江・浮嶽・福井小学校を設立する
西南戦争

一八八六（明治一九）
新県道（現国道二〇二号）が開通する